

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 学ぶ意欲の向上に向けた学習環境の醸成
-----	----------------------

施策主管課	生涯学習課	総合計画記載頁	106ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	8 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲を持って地域のための活動に取り組んでいます。
------	-------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

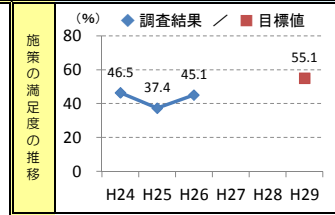
2 施策の取組状況

施策目標	一人ひとりが、自分にあった学びの機会や場を得て、いきいきと学んでいます。
------	--------------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	全生涯学習センターで開催される講座の延べ参加者数	単年度目標値	23,763	23,994	24,125	24,306	24,487			24,670	A	指標3	施策の満足度(%)		調査結果	46.5%	37.4%		45.1%
	現状値	23,582人	実績値	21,747	22,098	22,322				目標値(H29)	55.1%			前年度からの増減		-9.1%	7.7%			
	目標値(H29)	24,670人	単年度の達成度	91.5%	92.1%	92.5%				③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B	
指標2	図書館資料の貸出冊数(千点)	単年度目標値		4,335	4,508	4,688	4,875	5,070	B	【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29		
	現状値	4,075点	実績値	4,169	4,027	3,932						中核市平均	2.19	2.03	2.02					
	目標値(H29)	5,070点	単年度の達成度		92.9%	87.2%						実績値	2.10	2.12	1.97					
	現状値		実績値							中核市での本市の順位	20位/41市中	18位/41市中	22位/42市中							
	目標値(H29)		単年度の達成度							中核市平均										
										実績値										
										中核市での本市の順位										

※【①施策指標】の単年度の達成度の計算について

★ 増増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 国の第2期教育振興基本計画において、多様化が一層進む社会の中で、個々人が自立し、他者と連携・協働しながら、生涯にわたって生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担う力を身に付ける必要があるとしている。 平成26年10月の社会教育委員の会議において、「社会の要請」として『早急に対応が必要な課題』とそれらの課題に対して『必要とされる学習』が提言されている。 『早急に対応が必要な課題』: ①「超高齢社会」②「子育て・子育て環境の変容」③「格差社会」や「勤労観の変容」④「規範意識・社会性の低下」⑤「地域コミュニティの変容」 『必要とされる学習』: ①子ども・青少年に関わる課題に対する学習「多様な体験活動」、「職業観、勤労観の醸成」②成人に関わる課題に対する学習「子育て支援・家庭教育支援」、「大人の道德観の醸成」③高齢者に関わる課題に対する学習「豊かな人生に向けた多様な学習の提供」④地域住民に関わる課題に対する学習「地域コミュニティの強化」 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 「社会総ぐるみによる人づくり」の意識を醸成しながら、多様な学習機会の提供と、学習者の自立的な活動の支援などを図ってきたことにより、市民満足度は昨年度より増加している。 	総合評価	87点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 各生涯学習センターにおいて、青少年を対象とした講座や地域学講座の回数を増やし、多様な世代に応じた講座を積極的に開催したことにより、全体の延べ参加者数は昨年度より増加した。 図書館資料の貸出冊数については、継続的な小中学生への読書支援や高校生に対する読書推進の強化、読書推進ガイドブックの発行などに取り組んできたが、貸出冊数は微減した。 			概ね順調	

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	人材かがやき支援事業		・地域教育メッセの充実	生涯学習にかかわる 又は関心のある市民	地域教育メッセの開催	計画 どおり	31	H20	先駆的	出展団体や市民が交流しながら活動紹介や情報交換ができ、施策目標の達成に貢献している。今後もより一層、市民の生涯学習支援に寄ることができるよう、引き続き「うつのみや人づくりフォーラム」と同時開催し、局内の連携を強化するとともに事業の更なる充実を図っていく。
2	あすなろ青年教室事業交付金		・各種講座・事業の充実	あすなろ青年教室実施 委員会	事業の経費に対する補助金 の交付	計画 どおり	327	H16		本市では社会教育事業として、成人教育及び青少年教育を実施しているが、当該事業は、青少年教育として30歳以下の中学校特別支援学級等の卒業生を対象に、「あすなろクラブ」の実施委員会と関係各課との連携を図りながら実施している。今後は成人教育事業についても実施していく必要があることから、平成27年度より新たに30歳を超える卒業生を対象として活動している「ひのきクラブ」に対しても、同様の支援を行っていく。
3	人材かがやきセンター事業		・各種講座・事業の充実	全市民	各種講座の開催、関係職員 等研修の実施、学習相談の 実施等	計画 どおり	959	H22	先駆的	学校・家庭・地域など活躍する場や活動レベルに応じた学びにつながる講座や育成事業は、地域教育推進のために重要である。今後ともうつのみや地域教育プランや社会教育委員の会議の答申などを踏まえ、Vスタッフ養成講座や宮の朝活講座、社会的課題への対応講座など、全市民的、先駆的・モデル的な事業等についても引き続き実施していく。
4	市民大学運営協議会交付金		・各種講座・事業の充実	市民大学運営協議会	事業の経費に対する補助金 の交付	計画 どおり	2,114	H5		第2次宇都宮市地域教育推進計画に掲げた「人づくり」「終つくり」「地域づくり」に基づき、「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、これまで同様、高等教育機関との連携により高度で専門的な学習ニーズに応えらるとともに、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に重点的に取り組んでいく。
5	成人対象事業		・各種講座・事業の充実	概ね18歳以上の市民	各種教養講座、高齢者教室 などの開催	計画 どおり	3,522	S24		一人ひとりの人間力を高める事業として施策目標への貢献度は高く、多様な市民ニーズや様々な社会情勢に対応した魅力ある講座を今後も実施すると同時に、地域の課題に気づく地域学講座の実施や、市民が運営する講座の更なる推進に取り組んでいく。また、講座の実施にあたっては、実施日時の工夫など、地域教育を支える大人の学習機会として、より多くの市民が受講できるように努めていく。
6	子ども情報センター事業		・各種講座・事業の充実	主に、市内に住む小中 学生	うつのみや子ども情報セン ター窓口・情報誌・ホーム ページによる情報提供	計画 どおり	63	H13		子どもの生きる力の向上に向けた、自主的な体験活動を促進するために効果的な事業であり、庁内外の情報提供側のニーズも高く、より効果的な情報提供に努め、対象者の求める情報をバランスよく提供していく。
7	生涯学習センター文化祭負担金		・生涯学習センター事業の充 実	中央・東・西・南・北・上 河内・河内生涯学習セン ター利用団体が開催 する文化祭	中央・東・西・南・北・上河内・ 河内生涯学習センター文化 祭実行委員会の負担金の交 付	計画 どおり	1,023	S42		市民の学習活動の成果を発表する場として生涯学習活動の促進に必要な事業であり、一般観覧者を増やすとともに、幅広い年代の参加者を増やす方法についても検討する。
8	図書館情報提供システムの整備		・図書館機能の充実	検索は誰でも可能。 「予約」及び「利用状況 照会」等を利用できる のは、宇都宮市立図書館 条例施行規則により 個人貸出資格を有する 人。 業務用オンラインシス テムは図書館利用者、 図書館及び図書室職 員	図書館資料(図書・雑誌・視 聴覚資料等)の貸出、返却、 検索、予約、蔵書管理等を迅速 かつ正確に行い、利用者 サービスの向上を図るため の、図書館コンピューターシ ステムの活用	計画 どおり	67,876	H15		市民の利用増加が見込まれる中で、情報ネットワークを活用した更なるサービスの充実を目指し、より利便性の高いシステム構築を図った。今後は、コンピューターシステムを安定的に運用するとともに、トラブル時における迅速な対応を図る。
9	市立図書館外奉仕課貸出		・図書館機能の充実	・市内に住居又は通勤 通学している人 ・学校・幼稚園・保育 園・地域文庫・子どもの 家・老人ホームなど、 図書を団体活動に利 活用する市内の団体	・センター図書室等の利用者 への貸出 ・図書を団体活動に活用す る市内の団体への貸出	計画 どおり	6,563	S56		生涯学習センター図書室等の図書については、引き続きインターネット予約や資料搬送システムを活用し、利用者への迅速かつ有効な資料提供に努めるとともに、センター事業に関連する情報の提供を行う。また、中学生への読書推進のため、中学生が利用しやすいセンター図書室等の活用を図っていく。ニーズに沿った団体貸出用図書を充実させ、地域の団体の利用を促進する。
10	市図書館と学校図書館のネットワークの整備		・図書館機能の充実	児童生徒及び教職員	市内の小中学校に対し図書 の巡回貸出、学校図書館司 書への研修の実施。	計画 どおり	8,744	H18	トップ クラス	「宇都宮市読書活動推進計画」の基本施策として図書館と学校図書館とが連携して児童生徒の読書活動・学習活動を支援する事業であり、児童生徒の読解力の向上に努めるとともに、今後は更なるネットワークの充実についても検討する。
11	図書館障がい者サービス		・図書館機能の充実	市内に住居または通勤 通学している障がい 者、特に活字の交換 サービスが不可欠な視 覚障がい者	・図書館に来館できない障 がい者に対する、送料図書館 負担による郵送貸出 ・視覚障がい者に対する、点 訳・音訳図書の作成・貸出及 び郵送貸出 ・点訳・音訳作業を行う奉仕 員研修の実施	計画 どおり	2,378	S57		音訳資料のデジタル化や情報ネットワークの活用による資料提供などの面の充実を図る必要があるため、点訳・音訳奉仕員の養成や研修を、関連機関と連携して実施する。広報等を活用し障がい者サービスの周知を図り、また、読書ニーズを把握し、迅速かつ適切な情報提供に努める。

12	親子読書促進事業(宮っ子ふれあいブック)		・図書館機能の充実	市内に居住する1歳6か月児健康診査対象者及びその保護者	1歳6か月児健康診査会場における宮っ子バック(図書館利用案内、子育て支援パンフレット等)の配付及び読み聞かせの実施	計画どおり	519	H15		地域で子どもを感性豊かに育み、家庭での読書環境を整えていくためには、地域の協力が不可欠であるため、各地域の住民からなるボランティアの確保や育成を推進するとともに、会場での読み聞かせや、啓発パンフレット配布の充実など、読書のきっかけづくりや親子のふれあいに努めていく。
13	図書館整備事業		・図書館機能の充実	図書館利用者	図書館の機能保持及び安全確保のための整備	計画どおり	18,422	H13		老朽化した図書館施設においても、円滑な図書館サービスを提供するため、施設再整備のあり方を検討し、計画的な改修等を実施する必要がある。引き続き適切な時期の修繕工事により、建物の延命化に努める。
14	図書館館内資料の収集提供		・図書館機能の充実	市内に居住又は通勤通学している人及び栃木県央6市4町に居住している人	図書収集、整理、貸出、調査・相談等の事業	計画どおり	117,266	S56		課題解決に役立つ情報拠点として、予算や有料リサイクル市などで確保した財源を有効に活用し、各館の特性や市民ニーズを考慮した資料の充実に努める。フェスタmy宇都宮等の全市民的イベントに積極的に参加し、図書館の活用法等についてのPRに努め、利用の促進を図る。職員の資質向上と専門機関との連携を進めていき、情報提供力の強化を図り、出前講座等を通して、市民ニーズの多様化・高度化に対応していく。読書推進ガイドブック内のQRコードからリンクするHP上のブックリストの更新を行い、利用しやすい資料提供に努める。
15	図書館読書推進事業		・図書館機能の充実	市内に居住又は通勤通学している人及び宇都宮市図書館の利用者	講演会、講座、おはなし会など、図書館資料と関わりのある催しの実施	計画どおり	1,981	S56		市民の図書館に対するニーズは年々多様化しており、生涯学習の情報拠点として、様々な学習機会を提供するなど、施策目標への貢献度は高い。今後は多様化・高度化する利用者の要求に対応できるように、様々な利用対象を想定した講座等の充実を図り、更なるサービスの向上に努める。また、市民の自主的な読書活動を推進するため、読書推進ガイドブックの定期的な更新と、全市民的イベントでの読書活動啓発事業を実施していく。
16	青少年対象事業	○★	・地域人材養成プログラムの充実	市内小中学生、高校生及び市内に住んでいるか勤めている18歳から30歳までの市民	少年教室、中・高校生地域活動講座、青年教室などの講座の開催	計画どおり	932	S24		多様化する青少年のライフスタイルや学習ニーズに対応するために必要かつ有効的な事業であり、今後更に内容の充実を図りながら、より多くの青少年が参加できる学習環境を提供するとともに、協働可能な各種団体との連携についても検討していく。
17	講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業	○★	・Vスタッフ(旧:生涯学習コーディネーター)の育成・支援の充実	生涯学習講座の企画運営に関心のある市民	Vスタッフの養成	計画どおり	40	H13		地域教育の推進役を担うVスタッフの養成は重要である。講座修了生がより自立的な活動ができるようになるための支援を行うとともに、平成26年度に見直しを行ったVスタッフ制度をもとに、すべての生涯学習センターにおける活動機会の拡充や講座バンクの整備など、Vスタッフの自主的な活動を支援する。
18	成人式の開催	○★	・成人教育の充実	新成人	成人式の開催	計画どおり	654	H13	独自性	新成人の門出を祝うとともに、成人としての義務や権利の自覚を促す「教育的意義」をもった成人式とし、成人教育の出発点とするため、内容や運営手法などを引き続き検討する。また、各実施委員会において新成人と地域が連携を図り、円滑な成人式の運営ができるよう支援していく。
19	成人式実施委員会交付金	○★	・成人教育の充実	各成人式実施委員会	各実施委員会に対する交付金の交付	計画どおり	18,716	S23	独自性	協賛制度の立ち上げなどにより、各実施委員会が主体的に財源を確保するための取組を進めてきたところであり、引き続き、予算を有効に活用し、地域性を活かした新たな事業の実施や、より多くの新成人が企画運営に参画できる仕組みづくり、今後の成人式のあり方などについても検討する。
20	視聴覚ライブラリー運営事業		・各種講座・事業の充実	学校教育・社会教育団体及び市民	学校教育・社会教育における視聴覚教育に係る視聴覚教材、教材の利用に供するとともに、視聴覚機器の操作指導、視聴覚教材の制作・支援及び学習する機会の提供としての講座、映画会の開催並びにパソコン室等の施設貸出を行う。	計画どおり	941	S56	トップクラス	社会教育団体等の視聴覚教材、機材、施設の利用ニーズは高く、利用件数も多い状況であり、今後とも、視聴覚教材及び教材の適正な管理に努めるとともに、既存事業の充実を図りながら、きめ細かな学習情報の提供と利用者ニーズの多様化、高度化に対応した事業を実施できるよう努めていく。
21	人づくり推進事業	○★	成人教育の充実	全市民	①人づくりフォーラムの開催 ②宮っ子よりの発行 ③人づくり「合言葉」の周知啓発	計画どおり	4,102	H18		社会総ぐるみによる人づくりの機運を醸成するため、合言葉「育もう 地域の愛で 子どもの未来」のより一層の普及・定着を図るとともに、「うつのみや人づくりフォーラム」の開催や活動主体間の連携強化を意図した取組により、大人一人ひとりの人づくりへの参加意欲を高め、家庭や地域、学校、企業、行政が一体となった人づくりを推進していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆市民意識調査による市民満足度は増加に転じており、今後の目標値達成に向けて、より一層、市民ニーズに対応した各種講座・事業の充実を図るとともに、全ての世代に対しての読書推進や図書館の利用機会の拡大、利便性の向上などを図っていく必要がある。</p> <p>◆生涯学習コーディネーターの生涯学習センターにおける活動機会の拡充や講座バンクの整備を進めていくため、平成26年度に「生涯学習コーディネーター制度」から「講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)制度」への見直しを行ったところであり、平成27年度はこの制度を着実に推進することで、地域で活躍する人材の育成を図っていく必要がある。</p> <p>◆「社会教育委員の会議」から提言のあった「『社会の要請』と求められる学習」が必要とされる学習を着実に提供していくため、様々な課題の解決に対応した積極的な講座の開催と、より一層の図書館の情報提供機能の充実などに努めていく必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 ◆平成25年3月に策定した第2次宇都宮市地域教育推進計画に基づき、個人の興味や関心に基づく「主体的な学習活動」への支援は継続しつつ、「個人の自立に向けた学習」や「学習活動を支える人材の育成」、「社会の要請に対応した学習」などの充実に取り組んでいく。</p> <p>〈主要事業〉◆青少年対象事業については、多様化する青少年のライフスタイルや学習ニーズに対応するため、社会に関わる多様な体験活動など事業内容をさらに充実させるとともに、より多くの青少年が参加できる学習機会の提供に取り組んでいく。 ◆講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業については、講座修了生がより自立的な活動ができるよう支援を行うとともに、平成26年度に見直しを行ったVスタッフ制度をもとに、Vスタッフの自主的な活動を支援する。 ◆成人式の開催については、成人教育の出発点とするため、内容や運営手法などを引き続き検討するとともに、各実施委員会において新成人と地域が連携を図り、円滑な成人式の運営ができるよう支援していく。 ◆成人式実施委員会交付金については、協賛制度などによる財源の確保を進めてきたところであり、引き続き予算を有効活用し、地域特性を活かした事業の実施やより多くの新成人が企画運営に参加できる仕組みづくり、今後の成人式のあり方などについて検討していく。 ◆人づくり推進事業については、社会ぐるみによる人づくりの機運を醸成するため、合言葉のより一層の普及・定着を図るとともに、家庭や地域、学校、企業、行政が一体となった人づくりを推進していく。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆あすなろ青年教室事業交付金については、平成27年度より新たに、30歳を超える卒業生を対象とした「ひのきクラブ」にも同様の支援を行っていく。</p>